

令和8年度

受講無料・事前申込み不要

まいぶん考古学講座

考古学や埋蔵文化財に関する話題を、
石川県埋蔵文化財センター職員が
わかりやすく解説します。



第1回 9月6日(日)

「中世土師器(「かわらけ」)はなにを語っているか」

調査部特定事業調査グループ主事 知田 真幸

- ・ 中世遺跡でよく見かける中世土師器(「かわらけ」)ですが、まだ不明なことが多くあります。素焼きの土器である中世土師器「(かわらけ)」について紹介します。

第2回 10月18日(日)

「中世城郭の歩き方～歩き方の基本と技術の活用～」

調査部県関係調査グループ係主査 中川京太郎

- ・ 全国各地で数多く築かれた中世城郭は、地域の歴史を知る上で重要な存在であり、石川県内にも数多く残されています。その価値や魅力を深く知るため、中世城郭の歩き方の基本を、近年の新しい技術の活用方法とともに紹介します。

第3回 11月8日(日)

「終末期古墳の一樣相～隣接墳と複数石室墳～」

調査部国関係調査グループ主事 正田悠馬

- ・ 終末期古墳には須曾蝦夷穴古墳に代表される「双室墳」など魅力的な古墳が知られています。これらに加えて「隣接墳」などあまり着目されなかった観点から、列島の7世紀史についてその側面を考えます。

【時間】 各回とも、午後1時30分～3時

【会場】 石川県埋蔵文化財センター 研修室

石川県民大学校
連携講座